

# 上西小学校 木造校舎落成 への道（後編）

# 上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課  
上西集落支援員  
馬場 信一 編集  
連絡先090-9579-3953  
上西校区長責任発行

## 上西小学校の歴史（後編）

第145号の続きです。ついに木造校舎の落成です。そこまでの流れをお伝えします。

昭和17年 大花里集落より伊勢神社を上西校区の管理にするよう要請あり。区総会を経て、決議承認。

以後、出征軍人の武運長久、戦勝祈願は上西校区で運営するようになる。

昭和18年 榕城小分教場から独立。そのため高等科設置、校地拡張、校舎増改築に必要な準備資金がなく、不足を校区でまかなう。町七割地元三割ですべて終了。

不足分は…

- ①キクラゲ栽培をめざし、成績は優秀で当時の町報に「キクラゲ大明神」と賞され、各学校にも奨励される。
- ②花里大崎漁協が経営する布海苔採取・労働の拠出。
- ③カライモー戸二俵拠出。現在で2200円。
- ④最終段階として篤志寄附募集。結果は三万数千円集まる。戦後の物資不足のなかでの浄財である。

昭和20年 榎本信雄氏所有の樹齢百余年の老杉を譲渡される。島内でも類を見ない。  
〃9月 用材伐採開始。山頭は花里金三氏と長野熊市氏、搬出馬車頭は池上敬之助氏と田之上家信氏

長野熊市さん

池上敬之助さん



花里金三さん



田之上家信さん



昭和20年 種子島方面駐屯軍用製材機を校庭に  
〃10月 設置して製材が始まる。

まずは山入りの吉日を選び、区長・山頭は心身を清めて、山神に神酒を捧げ、供物を献じて無病息災を祈る。

準備完了の合図とともに、上西伝統の気合節が山から山へこだまする。巨木が倒れる音に気合節の調子を合わせ、区民の団結の叫びが響き渡る。

昭和22年  
〃2月 上棟式  
〃10月 落成式

上棟式は2月25日。木の香も新しく校舎は夕陽に映え、校庭にがっしりとそびえ立ち、将来の上西を象徴するようである。

10月8日、落成式を挙げる。区民各戸に折詰一戸焼酎一本が配給された。折箱は工事係が廃材の板を集めて加工、折の中身は婦人会が手作りした。区民の夢はここに実を結び、当日は集落ごとの競演で終日にぎわった。

落成の喜びに湧く競演は145号の写真でふり返っていただいた通り、これまでの苦勞がどれほどだったのかがよくわかります。先人の皆さんに感謝いたします。



上西小学校落成記念写真